

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会

第 49 回 中国四国地方部会連合学会

令和6年月6月8日(土)・9日(日)

会場 : 山口市 KDDI 維新ホール

担当 日耳鼻山口市地方部会

ご 案 内

会 期：令和 6 年 6 月 8 日（土）～9 日（日）

会 場：KDDI 維新ホール（JR 新山口駅下車、北口から直結）

〒754-0041 山口県山口市小郡令和 1 丁目 1 - 1 TEL：083-902-6727

学術講演会

1. 受付

- (1) 受付は 6 月 8 日（土）12 時より、9 日（日）は 8 時 40 分より 2 階 201 前にて行います。
- (2) 参加費 8,000 円を申し受けます。ネームカードに所属・氏名をご記入の上、会期中ご着用ください。名札は学術集会参加証明書および参加費領収証を兼ねます。医学科学生および初期研修医は無料です。
- (3) 専門医の方は、学術集会参加の単位が取得できますので、会員 IC カードをご持参ください。

2. 発表者の皆様へ

- (1) 発表時間は 1 題 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）です。時間厳守をお願い致します。
- (2) 発表は会場備え付けの PC とプロジェクターを使用して行っていただきます。発表データは USB メモリ（Windows のみ）を受付いたします。
- (3) 動画、音声を使用される場合や Macintosh で作成された場合は、ご自身のパソコンをお持ちください。PC 受付にて必ず出力チェックを受けた後、発表群の開始前に、パソコンを会場前方の準備席のスタッフにお預けください。なお、スクリーンセーバーおよび省エネモードは予め解除しておいてください。
- (4) PC 受付は該当群開始 30 分前までにお済ませください。

3. 座長の先生へ

- (1) 会場前方の次座長席へ、担当される群の開始 10 分前までにお越しください。
- (2) 発表時間は 1 題 10 分（発表 7 分、質疑応答 3 分）です。円滑な進行をお願い致します。

会場案内

【学会】

会期：令和6年6月8日（土）～9日（日）

会場：KDDI 維新ホール

総合受付 2階

第1会場 2階 201

第2会場 2階 205

〒754-0041 山口県山口市小郡令和1丁目1-1 TEL：083-902-6727

【役員会】

日時：令和6年6月8日（土） 12時より

会場：KDDI 維新ホール 2階 204

【懇親会】

日時：令和6年6月8日（土） 18時より

会場：山口グランドホテル（JR新山口駅新幹線口）

2階 レディアンス

〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町1丁目1-1 Tel: 083-972-7777（代）

URL： <https://ygh.co.jp>

*懇親会費は無料です。

*学会の受付をお済ませでない方は、懇親会場受付で学会参加費をお支払いの上
ネームカードをお取りください。

*懇親会場ではネームカードを着用してください。

【保険医療委員会】

日時：令和6年6月9日（日） 9時より

会場：KDDI 維新ホール 2階 204

会費：各県 10,000 円（当日、会場にてお支払いください）

【学会事務局】

〒755-8505 山口県宇部市南小串 1-1-1

山口大学医学部耳鼻咽喉科学教室内

日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会山口県地方部会

TEL & FAX：0836-33-2290

E-mail：chushi49@yamaguchi-u.ac.jp

会場への交通

学会会場：KDDI 維新ホール

〒754-0041 山口県山口市小郡令和1丁目1-1 TEL：083-902-6727

アクセス：新幹線「新山口」駅下車、北口から直結

中国自動車道小郡JCT経由、山口宇部道路長谷ICから約1分

KDDI 維新ホールには有料駐車場（100円/60分）がございます。数に限りがございます。

懇親会会場：山口グランドホテル

〒754-0021 山口県山口市小郡黄金町1-1 TEL：083-972-7777

アクセス：JR新山口駅 新幹線口より徒歩3分



日 程 表

6月8日(土)

6月9日(日)

12:00

役員会
2階 204

13:00

第1会場
2階 201

第2会場
2階 205

第1会場
2階 201

保険医療委員会
2階 204

13:05 開会の辞

13:10

第1群
1-3

13:10

第7群
23-26

9:00

保険医療委員会

13:40

第2群
4-7

13:50

第8群
27-29

9:30

第11群
37-40

14:20

第3群
8-11

14:20

第9群
30-33

10:10

第12群
41-43

15:00

第4群
12-15

15:00

第10群
34-36

10:40

第13群
44-47

15:40

第5群
16-19

15:30

11:20

閉会の辞

11:30

16:20

第6群
20-22

16:50

18:00

懇親会
山口グランドホテル 2F レディアンス

学術講演会

令和6年6月8日（土） 第1会場

開会の辞 （13：05）

会長 山下 裕司

第1群 （13：10～13：40）

座長 羽藤 直人（愛媛大学）

1. 保存的治療により鼓膜穿孔が閉鎖した慢性鼓膜炎の1例
○呉 奎真¹⁾、福島典之¹⁾、平位知久¹⁾、世良武大¹⁾、和田直覚¹⁾、五月女有華¹⁾、
松元聡一郎¹⁾、益田 慎²⁾ （県立広島病院¹⁾ 県立広島病院小児感覚器科²⁾
2. 耳閉感で発見された成人先天性真珠腫症例
○富永祐一郎、綾田展明、江草憲太郎、皆木正人、福増一郎、藤野泰志
（広島市立広島市民病院）
3. 耳垢腺腫の一例
○友國晃一郎、矢間敬章、渡部 佑、藤原和典 （鳥取大学）

第2群 （13：40～14：20）

座長 安藤 瑞生（岡山大学）

4. 光免疫療法後に Pembrolizumab 投与が著効した口腔癌の1例
○和家旭志、森 照茂、星川広史 （香川大学）
5. 頭頸部アルミノックス治療により咽喉頭全摘出術を回避し得た1例
○手島大雅、牧野琢丸、藤本将平、森脇悠利、安藤瑞生 （岡山大学）
6. 対応に苦慮したニボルマブによる気管軟骨炎の1例—画像診断の有用性—
○小佐井創、伊藤広明、宮内敦史、梶山泰平、松本宗一、小森正博 （高知大学）
7. 当科におけるがん遺伝子パネル検査の検討
○金村 亮、藤野勝也、両角遼太、戸村美紀、神村盛一郎、近藤英司、北村嘉章
（徳島大学）

第3群 (14:20~15:00)

座長 原 浩貴 (川崎医科大学)

8. 確定診断に時間を要した喉頭結核の1例

○前田祐一郎、濱本真一、横山彩佳、福田裕次郎、假谷 伸、原 浩貴
(川崎医科大学)

9. 一過性の一側性声帯麻痺に対する音声機能温存を工夫した症例

○堂坂怜香、平憲吉郎、藤原和典 (鳥取大学)

10. 声門下肉芽を呈した再発性多発軟骨炎例

○真田朋昌¹⁾、吉田 正¹⁾、高瀬慎也¹⁾、渥美潤一¹⁾、脇坂浩之²⁾
(市立宇和島病院¹⁾ 愛媛県立医療技術大学²⁾)

11. 喉頭に発生した血管平滑筋腫症例

○清水菜津子¹⁾²⁾、折田浩志²⁾、津田潤子¹⁾、菅原一真¹⁾、竹本 剛²⁾
(山口大学¹⁾ 山口県立総合医療センター²⁾)

第4群 (15:00~15:40)

座長 坂本 達則 (島根大学)

12. 鼻涙管粘膜弁を用いた術後性上顎嚢胞の一例

○西岡恵美¹⁾、秋山貢佐²⁾、富岡史行¹⁾、印藤加奈子¹⁾
(三豊総合病院¹⁾ 香川大学²⁾)

13. 眼筋型重症筋無力症を合併した蝶形骨洞側窩進展の内反性乳頭腫例

○内藤貴教¹⁾、牧原靖一郎¹⁾、中野由美子²⁾、清水藍子¹⁾、村井 綾¹⁾、檜垣貴哉¹⁾、
安藤瑞生¹⁾ (岡山大学¹⁾ 岡山大学病院神経内科²⁾)

14. 甲状腺眼症に対する鼻内内視鏡下眼窩減圧術の検討

○梶川温子、川住知弘、三村藍加、石野岳志、竹野幸夫 (広島大学)

15. トラネキサム酸がESS施行時の内視鏡視野に与える影響

○世良武大¹⁾、平位知久¹⁾、呉 奎真¹⁾、和田直覚¹⁾、五月女有華¹⁾、松元聡一郎¹⁾、
福島典之¹⁾、益田 慎²⁾ (県立広島病院¹⁾ 県立広島病院小児感覚器科²⁾)

第5群 (15:40~16:20)

座長 竹野 幸夫 (広島大学)

16. 大量の鼻出血を繰り返した右内頸動脈瘤の症例

○貝谷 光、中森基貴、中村陽祐、藤原和典

(鳥取大学)

17. 視力低下をきたした後部篩骨洞嚢胞の1例

○清原敬一郎¹⁾、福入隆史¹⁾、堀部裕一郎²⁾、竹本浩太²⁾

(マツダ病院¹⁾ 広島大学²⁾)

18. 失明から回復した副鼻腔乳頭腫術後の眼窩先端症候群の一例

○竹中裕紀¹⁾²⁾、沖中洋介¹⁾、橋本 誠¹⁾、山本陽平¹⁾、菅原一真¹⁾

(山口大学¹⁾ 下関医療センター²⁾)

19. 慢性鼻副鼻腔炎症例における副鼻腔画像陰影の定量解析

○赤尾真由佳、竹本浩太、西田 学、石野岳志、竹野幸夫

(広島大学)

第6群 (16:20~16:50)

座長 藤原 和典 (鳥取大学)

20. 耳下腺非結核性抗酸菌症の1例

○貞岡知花、渡部 真、小川知幸

(中国労災病院)

21. 耳下腺の nodular oncocytic hyperplasia に対して耳下腺腫瘍切除術を施行した一例

○木股由貴、玉木久信、佐藤進一

(倉敷中央病院)

22. 一側耳下腺内に同時発生した基底細胞腺腫の1例

○竹野研二

(山口県済生会山口総合病院)

令和6年6月8日(土) 第2会場

第7群 (13:10~13:50) 座長 上田 勉 (広島大学)

23. 専攻医による口蓋扁桃摘出術の執刀経験と学習曲線

- 亀田央純¹⁾、柴田美知子¹⁾、清水香奈子¹⁾、清水保彦¹⁾、森倉一朗¹⁾、
青井典明¹⁾、藤原崇志²⁾、佐藤進一²⁾、玉木久信²⁾、坂本達則¹⁾
(島根大学¹⁾ 倉敷中央病院²⁾)

24. 外切開にて摘出した舌内神経鞘腫の1例

- 深澤茉祐、牧野琢丸、松本淳也、直井勇人、安藤瑞生 (岡山大学)

25. 中心性巨細胞肉芽腫の1例

- 多田紫布、田所宏章、前田祐一郎、三宅宏徳、福田裕次郎、假谷 伸、原 浩貴
(川崎医科大学)

26. 悪性リンパ腫の診断前後に下位脳神経障害を伴う帯状疱疹が生じた2例

- 野田寛貴、津村宗近、田中慎太郎、宮本翔太郎 (香川労災病院)

第8群 (13:50~14:20) 座長 假谷 伸 (川崎医科大学)

27. 高知県における新生児聴覚検査

- 福永一郎¹⁾、土居奈央²⁾、弘瀬かほり²⁾、小林泰輔²⁾³⁾、兵頭政光²⁾
(高知県健康政策部・高知県立療育福祉センター¹⁾ 高知大学²⁾ 鷹の子病院³⁾)

28. 人工内耳体内装置のマグネット変位により外科的処置を行った症例の検討

- 立上京香¹⁾、菅谷明子¹⁾、大道亮太郎¹⁾、佐藤 晶¹⁾、内藤貴教¹⁾、
前田幸英¹⁾、片岡祐子²⁾、假谷 伸³⁾、安藤瑞生¹⁾
(岡山大学¹⁾ 岡山大学病院聴覚支援センター²⁾ 川崎医科大学³⁾)

29. 左頸部から外耳道に連続した第一鰓裂性瘻孔の1例

- 山名悠太、西原江里子、林 祐志、三谷壮平、山田啓之、羽藤直人 (愛媛大学)

第9群 (14:20~15:00)

座長 小森 正博 (高知大学)

30. 21世紀出生児縦断調査を用いた耳鼻咽喉科臨床研究

○浦口健介^{1,2)}、頼藤貴志²⁾、高尾総司²⁾、三橋利晴³⁾、松本尚美²⁾、
牧原靖一郎¹⁾、安藤瑞生¹⁾

(岡山大学¹⁾ 岡山大学疫学・衛生学分野²⁾ 岡山大学新医療研究開発センター³⁾)

31. 離島における耳鼻科診療の現状と臨床研修の魅力

○三村昇平

(小豆島中央病院)

32. 耳前部特発性浅側頭動脈瘤の1例

○増田栞菜、濱本真一、藤田尚晃、前田祐一郎、假谷 伸、原 浩貴

(川崎医科大学)

33. 再発性多発軟骨炎の2例

○庄野仁志、蔭山麻美、高岡 奨、石谷圭佑、東 貴弘、佐藤 豪、北村嘉章

(徳島大学)

第10群 (15:00~15:30)

座長 宮下 武憲 (香川大学)

34. 両側頸動脈小体腫瘍の手術症例

○竹内杏一、江原浩明、小山哲史、藤原和典

(鳥取大学)

35. 外耳道癌が疑われた外耳道原発多形腺腫の一例

○柳沢周成、小田尊志、藤田陸登、小川結衣、石野岳志、竹野幸夫

(広島大学)

36. 下咽頭癌と鑑別を要した舌骨症候群により下咽頭潰瘍を来した1例

○田口佳典¹⁾、門田伸也¹⁾、橋本香里¹⁾、木谷卓史¹⁾、相原 栞¹⁾、田原寛明²⁾

(四国がんセンター¹⁾ 広島大学²⁾)

令和6年6月9日（日） 第1会場

第11群（9:30～10:10） 座長 北村 嘉章（徳島大学）

37. 広島県における花粉飛散およびアレルギー感作の経年変化と COVID-19 流行の影響
○杉本裕梨、石川知慧、竹本浩太、築家伸幸、西田 学、小田尊志、堀部裕一郎、
石野岳志、竹野幸夫（広島市立北部医療センター安佐市民病院）
38. アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎（AFRS）と上下気道炎症 ー当科経験症例をもとに
○木村祐登、堀部裕一郎、廣兼 桜、石川知慧、石野岳志、竹野幸夫（広島大学）
39. 肥厚性鼻炎との鑑別を要したNK/T細胞リンパ腫の1例
○五月女有華¹⁾、平位知久¹⁾、呉 奎真¹⁾、世良武大¹⁾、和田直覚¹⁾、松元聡一郎¹⁾、
福島典之¹⁾、益田 慎²⁾（県立広島病院¹⁾ 県立広島病院小児感覚器科²⁾）
40. 上顎洞放線菌症の一例
○上窪優介、青石邦秀、羽藤直人（愛媛大学）

第12群（10:10～10:40） 座長 門田 伸也（四国がんセンター）

41. 放射線治療後の手術が有用であった鼻副鼻腔神経内分泌癌の1例
○南 怜那、伊藤広明、宮内敦史、松本宗一、小森正博（高知大学）
42. 左上顎癌肉腫例
○青井典明¹⁾、森倉一郎¹⁾、長瀬真実子²⁾、坂本達則¹⁾
（島根大学¹⁾ 島根大学器官病理学²⁾）
43. 外鼻有棘細胞癌の切除再建に Anterior pedicled lateral nasal wall flap を併用した一例
○森 俊輔¹⁾、牧原靖一郎¹⁾、松本 洋²⁾、清水藍子¹⁾、村井 綾¹⁾、牧野 琢丸¹⁾、
檜垣 貴哉¹⁾、安藤 瑞生¹⁾（岡山大学¹⁾ 岡山大学病院形成外科²⁾）

第13群 (10:40~11:20)

座長 星川 広史 (香川大学)

44. ダブラフェニブ・トラメチニブ併用療法を施行した甲状腺乳頭癌の1例
○湯浅耕太郎、築家伸幸、田原寛明、佐藤佑毅、服部貴好、樽谷貴之、濱本隆夫、
上田 勉、竹野幸夫 (広島大学)
45. 甲状腺内副甲状腺癌により高カルシウム血症を来した症例
○田中梨夏子¹⁾²⁾、坂本めい¹⁾、竹本洋介¹⁾、堀 健志¹⁾、橋本 誠¹⁾、竹本 剛²⁾
(山口大学¹⁾ 山口県立総合医療センター²⁾)
46. 高Ca血症と急性腎障害を契機に副甲状腺癌と診断した1例
○桧垣有紗 (愛媛大学)
47. 出血により急性増大を来し摘出術を要した副甲状腺嚢胞の一例
○隅田良介、永澤 昌、大林敦人、渡部克哉、加藤秀範 (市立三次中央病院)

閉会の辞 (11:20)

会長 山下 裕司

MEMO

Miyarisan

製造販売元
ミヤリサン製薬株式会社

生菌製剤
ミヤBM[®]細粒
MIYA-BM[®] FINE GRANULES

生菌製剤
ミヤBM[®]錠
MIYA-BM[®] TABLETS

酪酸菌(宮入菌)製剤

効能・効果、用法・用量、使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

薬価基準収載

資料請求先：[学術部] 東京都北区上中里 1-10-3 TEL: 03-3917-1191 FAX: 03-3940-1140

既存治療で効果不十分な 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (EGPA)に適応があります

～ヌーカラ皮下注100mgペンは
在宅自己注射の対象薬剤です～



ヌーカラ
皮下注100mgペン

GSK

NUCALA
mepolizumab

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

4. 効能又は効果(抜粋)

100mgペン、100mgシリンジ

- 気管支喘息(既存治療によっても喘息症状をコントロールできない難治の患者に限る)
- 既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症

5. 効能又は効果に関連する注意

(気管支喘息)

- 5.1 高用量の吸入ステロイド薬とその他の長期管理薬を併用しても、全身性ステロイド薬の投与等が必要な喘息増悪をきたす患者に本剤を追加して投与すること。
- 5.2 投与前の血中好酸球数が多いほど本剤の気管支喘息増悪発現に対する抑制効果が大い傾向が認められている。また、データは限られているが、投与前の血中好酸球数が少ない患者では、十分な気管支喘息増悪抑制効果が得られない可能性がある。本剤の作用機序及び臨床試験で認められた投与前の血中好酸球数と有効性の関係を十分に理解し、患者の血中好酸球数を考慮した上で、適応患者の選択を行うこと。[17.1.1、17.1.2 参照]
- 5.3 本剤は既に起きている気管支喘息の発作や症状を速やかに軽減する薬剤ではないので、急性の発作に対しては使用しないこと。

(好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)

- 5.4 過去の治療において、全身性ステロイド薬による適切な治療を行っても、効果不十分な場合に、本剤を上乗せして投与を開始すること。

6. 用法及び用量(抜粋)

100mgペン、100mgシリンジ

(気管支喘息)

通常、成人及び12歳以上の小児にはメボリスマブ(遺伝子組換え)として1回100mgを4週間ごとに皮下に注射する。

(好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)

通常、成人にはメボリスマブ(遺伝子組換え)として1回300mgを4週間ごとに皮下に注射する。

7. 用法及び用量に関連する注意

(好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)

本剤とシクロホスファミドを併用投与した場合の安全性は確認されていない。[17.1.3 参照]

8. 重要な基本的注意

- 8.1 本剤の投与は、適応疾患の治療に精通している医師のもとで行うこと。
- 8.2 本剤はヒトインターロイキン5(IL-5)と結合し、IL-5の機能を阻害することにより血中好酸球数を減少させる。好酸球は一部の寄生虫(蠕虫)感染に対する免疫応答に関与している可能性がある。患者が本剤投与中に蠕虫類に感染し、抗蠕虫薬による治療が無効な場合には、本剤投与の一時中止を考慮すること。[9.1.1 参照]
- 8.3 長期ステロイド療法を受けている患者において、本剤投与開始後にステロイド薬を急に中止しないこと。ステロイド薬の減量が必要な場合には、医師の管理下で徐々にすること。
- 8.4 本剤の投与期間中に喘息に関連した事象及び喘息の悪化が現れることがある。本剤の投与開始後に喘息症状がコントロール不良であったり、悪化した場合には、医師の診察を受けるよう患者に指導すること。
- 8.5 本剤の投与開始にあたっては、医療施設において、必ず医師によるか、医師の直接の監督の下で投与を行うこと。自己投与の適用については、医師がその妥当性を慎重に検討し、十分な教育訓練を実施した後、本剤投与による危険性と対処法について患者又はその保護者が理解し、患者又はその保護者自ら確実に投与できることを確認した上で、医師の管理指導の下で実施すること。自己投与の適用後、本剤による副作用が疑われる場合や自己投与の継続が困難な状況となる可能性がある場合には、直ちに自己投与を中止し医療施設に連絡するよう患者又はその保護者に指導し、医師の管理下で慎重に観察するなど適切な処置を行うこと。また、使用済みの注射器を再使用しないように患者又はその保護者に注意を促し、安全な廃棄方法について指導すること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

- 9.1.1 蠕虫類に感染している患者 本剤投与開始前に蠕虫感染を治療すること。[8.2 参照]

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。サルではメボリスマブが胎盤を通過することが報告されている。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。サルではメボリスマブが乳汁中へわずかに移行することが報告されている。

9.7 小児等

(気管支喘息)

- 9.7.1 6歳未満の小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

(好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)

- 9.7.2 小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

一般に、生理機能が低下している。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

11.1 重大な副作用

アナフィラキシー(頻度不明)

11.2 その他の副作用

	5%以上	1%以上5%未満	1%未満
過敏症		過敏症反応(蕁麻疹、血管浮腫、発疹、気管支痙攣、低血圧)	
感染症			下気道感染症、咽頭炎、尿路感染
精神神経系	頭痛		
呼吸器			鼻閉
胃腸障害		上腹部痛	
皮膚			湿疹
筋骨格系			背部痛
全身障害			発熱
投与部位	注射部位反応(疼痛、紅斑、腫脹、そう痒、灼熱感)		

注)凍結乾燥注射剤の国際共同第Ⅱ相試験及び国際共同第Ⅲ相試験の結果に基づく発現頻度

14. 適用上の注意

14.1 薬剤交付時の注意

患者又はその保護者には本剤に添付の使用説明書を渡し、使用方法を指導すること。

14.2 薬剤投与前の注意

- 14.2.1 投与前に室温で最低30分放置する。
- 14.2.2 開封後、8時間以内に投与する。8時間以内に投与しなかった場合は廃棄すること。

14.3 薬剤投与時の注意

(効能共通)

- 14.3.1 注射部位は上腕部、大腿部又は腹部とすること。
- 14.3.2 本剤は1回使用の製剤であり、1回に全量を使用し再使用しないこと。使用後は針が格納されるため、分解しないこと。

(好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)

- 14.3.3 100mgずつ3ヵ所に分けて投与し、各注射部位は5cm以上離すこと。

21. 承認条件

21.1 医薬品リスク管理計画を策定の上、適切に実施すること。

(好酸球性多発血管炎性肉芽腫症)

21.2 既存治療で効果不十分な好酸球性多発血管炎性肉芽腫症について、国内での治療症例が極めて限られていることから、製造販売後、一定数の症例に係るデータが集積されるまでの間は、全症例を対象に使用成績調査を実施することにより、本剤使用患者の背景情報を把握するとともに、本剤の安全性及び有効性に関するデータを早期に収集し、本剤の適正使用に必要な措置を講じること。

2022年6月改訂(第4版)

詳細は電子添文をご参照ください。電子添文の改訂にご留意ください。

ヒト化抗IL-5モノクローナル抗体

薬価基準収載

生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品(注意-医師等の処方箋により使用すること)

ヌーカラ皮下注100mgペン ヌーカラ皮下注100mgシリンジ

NUCALA solution for s.c. injection メボリスマブ(遺伝子組換え)製剤

製造販売元

グラクソ・スミスクライン株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1

文庫請求先及び問い合わせ先

TEL: 0120-551-007(9:00~17:45/土日祝日及び当社休業日を除く)

FAX: 0120-551-047(24時間受付)

PM-JP-MPL-ADVT-230001 作成年月2023年6月

治療用電気手術器

erbe エルベVIO3/APC3 高周波手術装置 自動排煙装置IES3



K931 超音波凝固切開装置等加算

VIO3は治療用電気手術器としての薬事承認を取得しました。それに伴い搭載された「thermoSEALモード」、及び専用アクセサリの「バイクランプシーリングアクセサリ」、または「バイシジョンシーリングアクセサリ」を併用いただくことで、適応の手術において「K931 超音波凝固切開装置等加算」(3000点)の取得が可能です。

VIO3に搭載可能な

自動排煙装置が登場しました。

IES3の特長

- 場所を取らないビルトイン設計
- ULPA15と高密度活性炭フィルターなど性質の異なる5層フィルター構造で確実に粒子を除去
- 二つのタービンによりレスポンスの速い吸引効率を実現
- ラパロモードを搭載
- VIOシリーズはもちろん他社電気メスとも連動

VIO3/APC3の特長

- 毎秒25,000,000回転の組織抵抗フィードバックにより、切開、凝固の再現性が向上
- 最大6個までのリモートプログラム設定可能
- 設定はエフェクトのみの調整でシンプルに
- Wi-Fi機能搭載により、ワイヤレスでPCやiPadとのコミュニケーションが可能

一般的名称：治療用電気手術器
販売名：エルベVIO3/APC3 高周波手術装置
承認番号：23000BZX00353000

電気メスは買わない時代です。

VIO3のリース・レンタルプラン

新しいVIO3の購入方法をご提案いたします。

メンテナンス費用も含むリース・レンタルプランでVIO3の導入をサポートいたします。

詳細は弊社担当者にお問い合わせいただくか、ホームページからお問い合わせください。

<https://www.amco.co.jp>

アムコ ライブラリー

Q 検索

会員登録頂くと、製品に関するケースレポート、講演会やセミナー動画、学会・セミナー記録集などの情報をご覧頂けます。
医療関係者の方を対象としております。



株式
会社

アムコ

www.amco.co.jp

本社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-8-7 TEL. 03 (3265) 4263 FAX. 03 (3265) 2796

耳鼻咽喉科クリニックなどの臨床現場に最適

オーディオメータ

インピーダンスオーディオメータ



AA-M1B/C



RS-M1

- サイズダウンで省スペース化（横幅 350mm）
- タッチパネルで操作が容易に
- 電子カルテシステムとの連携

信頼の国産ブランド

リオネット補聴器は

RIONET
リオネット



おかげさまで
発売73周年を
迎えました。

Quality of Sound, Quality of Service
リオネット補聴器



<http://e-mimi.jp>

九州・山口に 32 店舗 安心と信頼のネットワーク

<http://e-mimi.jp/>



九州リオン株式会社

〒812-0039 福岡市博多区冷泉町 5-18 TEL:092-281-5361

認定補聴器専門店・認定補聴器技能者在籍店

リオネットセンター 下関

〒750-0025 下関市竹崎町 2-12-3 TEL:083-233-4133

認定補聴器専門店・認定補聴器技能者在籍店

リオネットセンター 周南

〒745-0017 周南市新町 1-13 TEL:0834-21-7733

認定補聴器専門店・認定補聴器技能者在籍店

リオネットセンター 宇部

〒755-0046 宇部市南小串 1-4-7 TEL:0836-39-7981

認定補聴器技能者在籍店

リオネットセンター 柳井

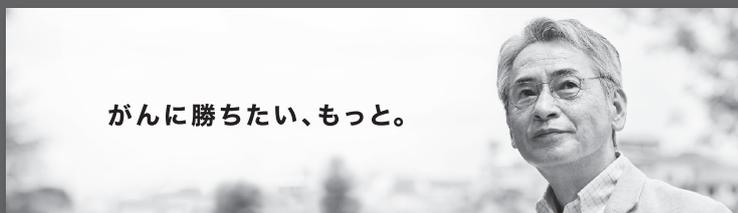
〒742-0032 柳井市古開作 701-7 TEL:0820-25-1188

誠心誠意、確実迅速に、医療を支えます



海井医科器械株式会社

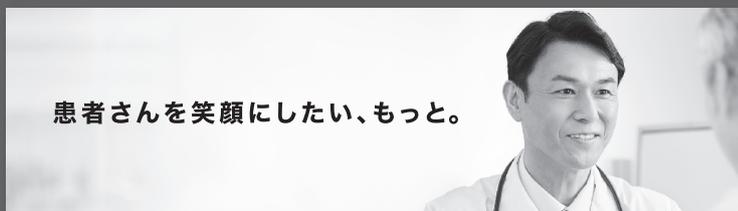
本社 〒741-0083 岩国市御庄2丁目101-3 TEL 0827-46-0115(代) FAX 0827-46-0116
周南営業所/山口営業所/宇部営業所/下関営業所/海井福祉サービス/薬品部 仁天堂



がんに勝ちたい、もっと。



家族と一緒にいたい、もっと。



患者さんを笑顔にしたい、もっと。



革新的な薬を届けたい、もっと。



がんと向き合う
一人ひとりの想いに
応えたい。

私たちMSDは、革新的ながん治療薬を
開発する情熱を抱き、
一人でも多くの患者さんに
届けるという責任をもって
がん治療への挑戦を続けています。

WINNING
MORE
AGAINST
CANCER

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>



選択的NK₁受容体拮抗型制吐剤
 ホスネツピタント塩化物塩酸塩注射剤
 劇薬、処方箋医薬品（注意—医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

アロカリス® 点滴静注 235mg
Arokaris® I.V. infusion

効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報は電子添文をご確認ください。

製造販売元 **TAIHO**
 文献請求先及び問い合わせ先
大鵬薬品工業株式会社
 〒101-8444 東京都千代田区神田錦町1-27
 TEL.0120-20-4527 <https://www.taiho.co.jp/>

提携先 **HELSINN** スイス

2023年4月作成



ヒト型抗ヒトIL-4/13受容体モノクローナル抗体
デュピクセント® 皮下注300mgペン
 皮下注300mgシリンジ
 皮下注200mgシリンジ
DUPIXENT® デュピルマブ(遺伝子組換え)製剤
 生物由来製品、劇薬、処方箋医薬品（注意-医師等の処方箋により使用すること）

薬価基準収載

「効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

DUPIXENT®
 (dupilumab)

製造販売元: **サノフィ株式会社**
 〒163-1489
 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

販売提携: **リジェネロン・ジャパン株式会社**

MAT-JP-2007134-4.0
 2023年11月作成



NUTRITION



バナナ味 コーヒー味 メロン味 黒糖味 バナナ味 ストロベリー味 抹茶味

※味の違いは香料によるもので、本剤にはバナナ、コーヒー、メロン、黒糖、バナナ、ストロベリー、抹茶などの成分は含まれておりません。

製造販売元

アボットジャパン合同会社

東京都港区三田三丁目5番27号

[資料請求先] アボットジャパン合同会社 お客様相談室 フリーダイヤル **0120-964-930**

経腸栄養剤(経口・経管両用)

薬価基準収載

インシュア[®]・H

「効能・効果」、「用法・用量」、禁忌を含む「使用上の注意」等については製品添付文書をご参照ください。

2022年1月作成



Hear now. And always

コクレアは、人々が何を必要としているかを考えて技術革新に努めています。それは、グレアム・クラーク教授が自身の父親が難聴で苦勞する姿をきっかけに、世界初のマルチチャンネル人工内耳の開発を始めた時から受け継がれています。

そのため、私たちの製品・サービス・サポートは常に進化・向上し続けています。コクレアは人工聴覚器のリーディングカンパニーとして、より良い聴こえと革新的な最先端技術を提供するために最大限の企業努力を図って参ります。

難聴の治療については、医療従事者にご相談ください。聴こえや結果は着用者によって異なりますので、医療従事者が着用結果に影響を及ぼす可能性のある要因についてアドバイスします。使用については必ず取扱説明書をお読みください。国によっては販売されていない製品があります。お近くのコクレアの担当者に連絡して製品情報を確認してください。Cochlear、コクレア、「Hear now. And always」、楕円形のロゴ、および[®]または[™]の記号の付されたマークは、別段の記載がない限り、Cochlear Limitedの商標または登録商標です。
©Cochlear Limited 2020. Japanese translation of D1772999 V1 2020-08

www.cochlear.com

CEOLIA



フルオロキノロン系抗菌耳科用製剤

薬価基準収載

コムレクス® 耳科用液1.5%

COMLEX® OTIC SOLUTION 1.5%

レボフロキサシン耳科用液 処方箋医薬品^{注)}

注) 注意-医師等の処方箋により使用すること

新発売

製造販売元 (文献請求先及び問い合わせ先を含む)
セオリア ファーマ 株式会社
東京都中央区日本橋室町三丁目3番1号

販売元
武田薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町四丁目1番1号

2. 禁忌 (次の患者には投与しないこと)

本剤の成分又はオフロキサシンに対し過敏症の既往歴のある患者 [9.1.1 参照]

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報等については、電子化された添付文書をご参照ください。

COM 2-04.3_202306